

IT can create it.

KEYWARE

2014 CSR REPORT

キーウェアグループ CSR報告書



トップインタビュー



社会やステークホルダーの皆様から信頼されるとともに成長を期待される企業を目指します

代表取締役社長 三田 昌 弘

Q キーウェアにおけるCSRの位置づけをどのようにお考えでしょうか？

当社は、約50年にわたり、官公庁、運輸、通信、金融、医療、流通、製造といった多様な分野において、社会インフラを支える情報システムの構築に携わり、多くのお客様から高い信頼をいただいております。

近年、ICTの利活用は、医療、教育、暮らしなど幅広い分野において広がり、社会が抱えるさまざまな課題に対応するために必要不可欠なものとなっています。

キーウェアのCSRは、事業を通じて社会の課題解決と発展に貢献し、持続的に社会的責任を果たし、お客様や社会とともに成長を続けていくことと考えます。

Q 事業を通じたCSRの具体的な取り組みを教えてください。

当社では、社会のニーズや環境の変化に迅速かつ柔軟に対応し、新たな事業領域にも積極的にチャレンジしています。

その一つがヘルスケア分野です。医療・介護費の抑制、QOL

(Quality of Life : 生活の質) の向上といった観点から、予防医療や主体的な健康管理の必要性が高まっています。また、近年、糖尿病患者数は著しく増加傾向にあり、健康保険の医療費増加が課題となっています。

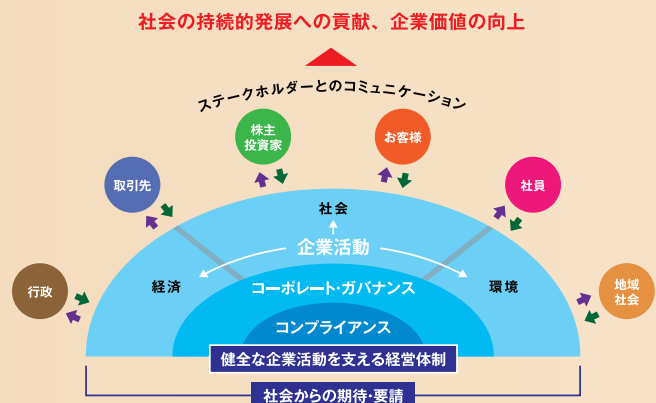
当社は、2年前からスマートフォン向け健康管理サポートサービス「健康からだコンパスLifeRoute (ライフルート)」を提供しておりますが、糖尿病の発症の予防・早期発見・重症化予防というニーズに対応して、今年、血糖値管理機能を追加いたしました。

一方、セキュリティ分野ではスマートフォンの情報漏えい防止アプリをはじめ、指紋と指静脈を組み合わせたより高度な生体認証による本人認証モジュールやソフトウェアで扉の施錠をコントロールする電子錠システムInteractive CLIQなど、高度なセキュリティ関連製品・サービスを提供しております。

また、ITサービスを通じて東北地域の復興と発展に寄与するために東北支店を設立して3年目を迎えました。東北支店では、産官学で連携し、医療事故を防ぎ医療の安全管理を行う医療安全管理モニタリング情報システムの導入や、農業にITを活用し生産性の向上をはかるスマートアグリ事業に取り組んでおります。

CSRの考え方

キーウェアは、社会からの信頼や期待に応えていくために、お客様、株主、社員、取引先、地域社会をはじめとするあらゆるステークホルダーの方々と積極的にコミュニケーションをはかりながら事業活動を行うことにより、社会の持続的発展への貢献を目指しています。



Q 全社的なCSR活動を推進するにあたり、具体的な取り組みを教えてください。

お客様や社会のニーズに応えるITソリューション・サービスを提供し、企業として成長を続けていくためには、経営の健全性・透明性を保ち、誠実な事業活動を推進していくことが重要だと考えております。このため、2014年4月よりCSR活動の専任部署として新たに「CSR推進室」を設立いたしました。社員一人ひとりがキーウェアの果たすべき社会的役割や社会貢献のあり方をあらためて認識し、より主体的に活動に取り組んでいくために、さまざまなCSR活動の推進や社内へのCSRの浸透を進めてまいります。

また、製品・サービスの品質向上をはかり、健全な事業活動を推進していくため、CSR推進室が中心となり、国際規格に則った品質・環境・情報セキュリティ・個人情報保護を統合したマネジメントシステム「ISMASH」の運用のさらなる徹底をはかり、効果を高めてまいります。

Q 社内の取り組みで特に注力していることを教えてください。

上場企業としての社会的責任を認識して、安心していただける会社であること、また、成長を期待していただけるような会社でありたいと考えています。IT企業である当社にとって、成長の原動力となるのは、やはり「人」です。

さらなる成長に向けて、コンプライアンスの徹底や情報管理体制を整備するなど、経営体制の強化に取り組むことはもちろん、社員への教育を最重要ポイントとして「フロンティアチャレンジ教育支援制度」を設立し、ITスキルや語学など各種資格取得支援に取り組んでおります。さらに、「IKI²! (イキイキ) プロジェクト」を通じて、社員の声を事業に取り込んでおります。「IKI²! (イキイキ) プロジェクト」は、昨年度下期から実施している経営改革の全社的な活動で、「『魅力ある会社』になるための問題や課題を抽出し、社員一人ひとりが気づき、考え、議論し実行するというプロジェクトです。プロジェクトの名前には、「IKI²! (イキイキ: 'Innovate Keyware!' Initiative)」「社員の力を結集しキーウェアをイキイキした会社に革新しよう」という意味が込められています。

また、地域とのコミュニケーションも重要と認識しています。これまで、本社のある世田谷区の小中学校を中心に実施している社名にちなんだ植樹活動「木植えあプロジェクト」や、毎月就業前に実施している本社周辺の清掃活動など地域に密着した貢献活動を行ってまいりました。今後も地域や社会の皆様のお役に立てるような活動を推進してまいります。

これからも社員が一丸となって、社会やステークホルダーの皆様から信頼され、成長を期待される企業となるべく、さらなる努力を重ねてまいります。



KEYWARE

経営理念

- 事業領域** 情報技術に関する全てを事業領域とします。
- 企業風土** 個人の個性と能力を発揮することに価値を置きます。
- 社会的役割** 創造性に富んだ情報技術によってお客様の要求を超えたソリューションを提供し、お客様の夢・理想を実現させ、豊かな社会の発展に貢献します。
- 企業スローガン** IT can create it.
クリエイティブな発想で、ITの持つ無限の可能性を現実のものとしします。

暮らしの中のキーウェア

安心 安全 便利

私たちは、情報システム豊かで便利な社会の発展

01 空港で

航空関連システム

航空分野で効率的かつ安全な航行を実現するために高い信頼性を必要とするシステムの構築に携わっています。



02 工場で

ERPソリューション

製造・プロセス業／サービス業／商社のお客様を中心に多くの基幹系業務システムの導入実績を有しています。お客様の事業に最適なERPパッケージを活用し、導入提案から構築・運用に至るまで、一貫したサービスを提供しています。



03 流通で

商社向け在庫管理・入出庫管理システム

商社向け在庫管理や入出庫管理システムの構築に携わっています。



04 高速道路で

交通情報ソリューション

各種交通情報（渋滞、信号機制御、感知器情報等）の蓄積、表示板への渋滞情報や位置情報等の表示に関するソリューションを提供しています。



05 街中で

野球・ゴルフ・大相撲などのスポーツ情報のニュース配信システム

作成側と取り込み側両方の技術を有し、配信社および新聞社など複数の事例を手がけています。



06 固定電話で、携帯電話で

一般電話（NTT）、携帯電話の通信情報、パケット通信情報、顧客管理、料金管理など

20年以上にわたってネットワーク事業者の顧客料金システム開発に携わっています。通信料金を計算して各センターに設置されている料金明細センターへ転送するシステムの開発、保守・運用を行っています。

07 病院で

オーダーリングシステム、電子カルテ、臨床検査システム、院内感染監視システム

病院や検査センターにおける各種医療情報システムのコンサルティングから導入・保守・運用までの一貫したサービスを提供しています。



08 銀行で

金融ソリューション

金融システム構築における各種設計技術と各種業務設計ノウハウの提供をベースに、勘定系業務・情報系業務のシステム構築に対し、上流から下流工程までの一貫したソリューションを提供しています。



・サービスを通じて を支えています。



15 農場で



ハウス栽培向け農業支援サービス

ハウス栽培における環境情報（気温・湿度など）をセンサーネットワークと連動したクラウドシステムでモニタリングし栽培管理や農作業の省力化を支援します。



14 宇宙で



衛星追跡管制・衛星関連データ処理 宇宙ステーション運用管制

地上側での衛星運用に関わるソリューションを提供しています。日本の宇宙開発の黎明期から国家プロジェクトに参画し、多くの実績を有しています。

13 オフィスで



経営とITの統合コンサルティング

ITの実装を真に価値あるものとするために、経営戦略や中期経営計画の策定、情報化企画からITの実装・運営までをシームレスかつ全面的に支援しています。

ハイブリッドシンクライアントソリューション

HTVUCS（エイチティーボックス）は、シンクライアント環境において、生体認証装置、ICカード・リーダー等のUSB周辺装置を安全に利用できるようにするソリューションです。マイナンバー制度における特定個人情報を取り扱うシステム基盤において、成りすましができない強力な認証基盤の構築を支援します。

非接触型指ハイブリッドソリューション

指ハイブリッド（指紋と指静脈）認証を可能とする組み込み用途向け小型モジュールを提供。入退室リーダーや複合機等の高いセキュリティが求められる機器において、セキュリティを強化することが可能です。

電子錠システム

Interactive CLIQは一本の鍵で複数のシリンダーを施解錠管理（設定、変更、履歴収集）する電子錠です。極めて精度の高い情報保護・セキュリティ確保をサポートします。



12 ホームで



駅のホーム用車両接近状況表示、 行先案内表示、緊急案内表示

鉄道駅のホームやコンコース用の案内表示等の旅客案内ソリューションを提供しています。



09 自宅で



ショッピングサイト

健康サービスサイトの運営や、商品販売サイトのシステム開発に携わっています。

在宅就業支援、テレワーク

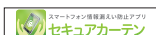
シンクライアントソリューション、クラウドサービスを利用し、在宅就業やテレワークの環境構築を行っています。

10 モバイルで



スマートフォン向けアプリ

スマートフォンを活用して日々のバイタルデータを登録・管理できる健康管理サポートサービス「健康からだコンパス LifeRoute（ライフルート）」や、大切な情報を外部に流出させる不正アクセスや不正Wi-Fiによる盗聴を事前に検知し、利用者に警告するスマートフォン情報漏えい防止アプリ「セキュアカーテン」を提供しています。



11 駅の改札で



駅改札におけるICカード利用など

出改札業務をはじめ、駅の財務会計業務、他社路線との精算業務、ICカードを利用した業務に関するソリューションを提供しています。



マネジメント編

キーウェアは、経営の健全性・透明性を保ちながら、継続的に企業価値を向上させていくために、経営体制の強化に取り組んでいます。

コーポレート・ガバナンス

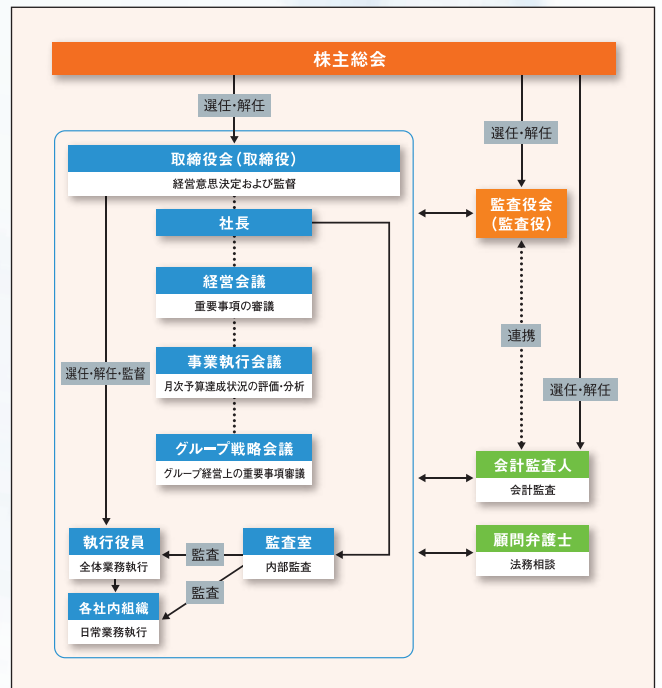
基本的な考え方・推進体制

グローバル化の進展や企業価値重視の経営という流れの中で、企業におけるコーポレート・ガバナンスの重要性はますます高まっています。こうした中で、当社といたしましても、コーポレート・ガバナンスを重要課題の一つとしてとらえ、経営環境の激しい変化に対応すべく、経営の効率化・意思決定の迅速化や、経営監督機能を充実させるため各種施策に取り組んでいます。

[取締役会] 取締役会は、取締役6名（うち社外取締役1名）で構成されます。経営の基本的な方針と戦略の決定および業務執行の監督機関と位置づけています。

[執行役員制度] 2000年7月より業務執行の迅速化をはかるため、執行役員制度を導入しています。執行役員6名を配置し、取締役会が決定した基本方針に従って業務執行にあたっています。

[監査役会] 監査役会は監査役4名（うち社外監査役2名）で構成されます。取締役会をはじめとする重要な会議への出席や業務および財産などの状況調査を行うことにより、取締役の職務執行を監視・監査しています。



コーポレート・ガバナンス体制(概略)

コンプライアンス

基本的な考え方・推進体制

キーウェアでは、法令および定款の遵守に限らず、社会規範や倫理、道徳など基本的な行動規範の遵守を徹底し、公明正大な事業活動を推進しています。

また、役職員が、健全な社会規範のもとにその職務を遂行するため、経営管理部においてコンプライアンスへの取り組みを横断的に統括することとし、同部を中心に教育等を実施しています。

内部通報制度

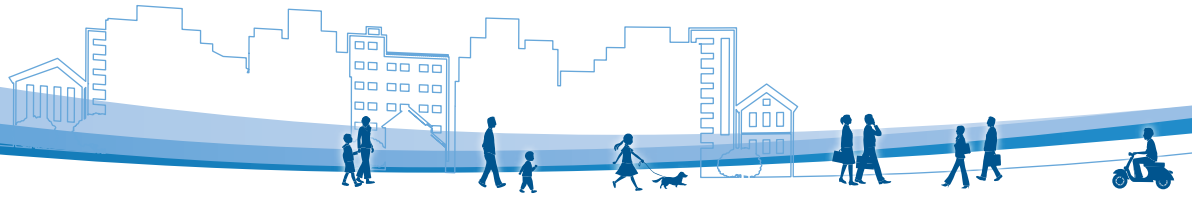
法令、社内規定違反などコンプライアンスに反した行為を予防するとともに、早期に発見し、解決するため、「ヘルプライン窓口」を設置しています。通報はプライバシーに配慮した調査のもと、対処・処置については通報者にフィードバックする仕組みとなっています。

コンプライアンスの啓発・教育の実施

社員のコンプライアンスの徹底をはかるため、全社員を対象として階層別研修やeラーニング等による教育を実施しています。2013年度は、契約に関する基礎知識の習得を目的とした教育をeラーニングにより実施し全社員が受講しました。

また、「社員行動規範カード」を全社員に配付し、社員のコンプライアンス意識の向上をはかっています。

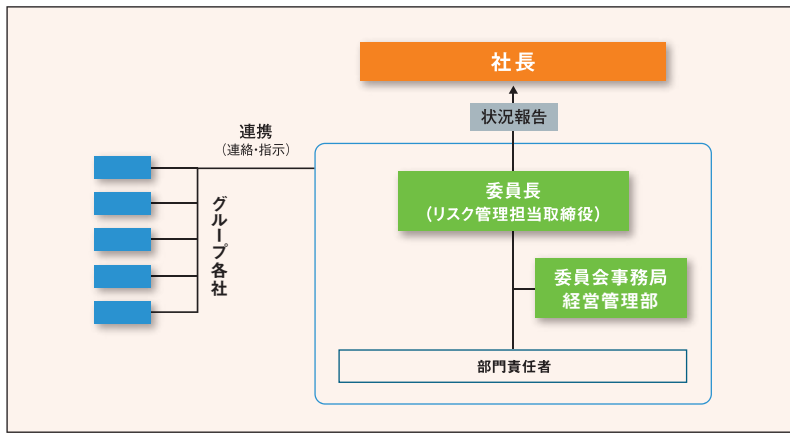




リスクマネジメント

基本的な考え方・推進体制

キーウェアでは、自然災害、事故、伝染病および会社の事業運営に重大な影響を及ぼすリスクの未然防止、発生したリスクへの速やかな対応を行うことにより業務運営を継続することを目的とし、リスクマネジメントを推進しています。推進体制として、「リスク管理規程」に基づきリスク管理委員会を設置し、リスクごとに事業継続のための対処方法等を各種規程等に定め、それらに基づいたリスクマネジメントを実行しています。



リスク管理委員会体制図

大規模災害への対策

地震、台風、伝染病、テロおよび社会インフラ、ライフラインの寸断などによる大規模災害が発生し、キーウェアが被害にあった場合またはあうおそれのある場合、社員の安全確認や事業早期再開に向けた基本方策として「災害対策規程」を整備し、行動マニュアルや備品(3日分の水、食料、ブランケット、簡易トイレ等)の整備、防災訓練などを実施しています。

また、災害時の社員の安否を迅速に把握する体制を整えています。3月に安否確認システムを使用した訓練を実施しました。

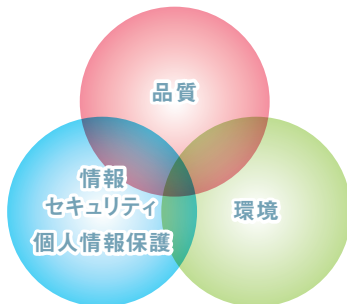


防災訓練の様子(本社)

統合マネジメントシステム(品質・情報セキュリティ・個人情報保護・環境)

基本的な考え方

キーウェアでは、品質マネジメントシステム(QMS)、環境マネジメントシステム(EMS)、情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)、および個人情報保護マネジメントシステム(PMS)を統合したマネジメントシステム「ISMASH」の運用を行っています。



※ISMASH: Integrated Synthetic Management System of Quality Assurance for a Software House



品質

キーウェアでは、品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001認証を取得し、品質の向上に取り組んでいます。また、品質マネジメントシステム(QMS)の運用だけにとどまらず、現場レベルのPDCAサイクルの好事例を横展開し、全社で品質マネジメントシステム(QMS)をブラッシュアップしていく活動を進めています。

情報セキュリティ

キーウェアでは、ISMS認証を取得し、機密情報管理の徹底を行っています。また、日常的に守るべきルールを「情報セキュリティ遵守事項」としてまとめ、全社員および当社業務に関わるパートナー社員に配付しています。「情報セキュリティ遵守事項」は、社内外の状況変化に対応するため、毎年見直しを行っています。これに加え、全社・部門・プロジェクト等の各階層において、情報セキュリティ教育を継続的に実施し、情報セキュリティ意識の向上をはかっています。



個人情報保護

キーウェアでは、個人情報の取り扱いに際して十分な配慮を行い、個人情報保護に努めています。また、キーウェアグループ(キーウェアサービスおよびキーウェア九州を除く)の各社において、プライバシーマーク認証を取得しています。

環境編

キーウェアでは、環境問題への取り組みを企業の社会的責任と認識し、豊かな社会と環境の実現に貢献してまいります。また、環境省が提唱しているチャレンジ25に参加し、温室効果ガス削減に積極的に取り組んでいます。

iSMASH方針

キーウェアの企業理念に基づき、事業活動を通じて、持続可能な社会の発展に貢献するために、iSMASHを確立し、維持し、実践する。

※詳しくは6ページをご覧ください。

iSMASHの目的

- 1 顧客要求事項・法令規制要求事項を満たす製品・サービスを提供することはもとより、品質および生産性を向上し、顧客満足度を向上すること。
- 2 顧客からの預かり品を含む当社の所有する情報資産に対する適切な情報セキュリティを確保し、社会的信用の失墜、事業の中断および会社資産の喪失を防ぐこと。
- 3 特に個人情報に関しては、取得、利用、提供、保管および廃棄等を適正に行うこと。
- 4 環境問題への取り組みを企業および個人の社会的責任と認識し、生物多様性の保全と持続可能な社会の実現に貢献すること。

目的を達成するために、次の各号に掲げる事項を実施する

- 1 全体・各階層で、目標を設定し、計画し、プロセスを実施する。
- 2 プロセスを実施した結果を定量的に測定し、分析する。
- 3 実績やノウハウ等の経験を組織的に蓄積する。
- 4 関連する法律、規則や必要とした要求事項を遵守する。
- 5 継続的改善を実行する。

重点施策として次の各号を実施する

- 1 品質
引き合いから納品までの各段階で検証等を行い、要求事項を満たす。
- 2 情報セキュリティ
情報資産を特定し、リスクアセスメントし、管理策を定め、実施する。
- 3 個人情報保護
情報資産の中で特に個人情報について管理策を強化する。
- 4 環境
省資源・省エネルギー、環境に配慮した製品サービスの購入および提供をし、3R（リユース、リデュース、リサイクル）を徹底する。

2014年4月15日改定

キーウェアソリューションズ株式会社 代表取締役社長 三田 昌弘

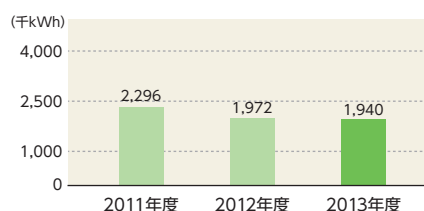
iSMASH目標

目的	2013年度		2014年度
	目標	実績	目標
環境パフォーマンスの向上	電力使用量：2012年度より3%削減	前年度と比較して1.6%減	電力使用量：2013年度と同等以下
	紙使用量：2012年度と同等以下	前年度と比較して7%減	紙使用量：2013年度と同等以下
	廃棄物量：2012年度と同等以下	前年度と比較して8.0%増	廃棄物量：2013年度と同等以下
	水使用量：2012年度と同等以下	前年度と比較して3.3%増	水使用量：2013年度と同等以下
	グリーン調達率：2012年度より同等以上	前年度と比較して4.3%増	グリーン調達率：2013年度より同等以上
			生物多様性対応への認識向上

環境パフォーマンス

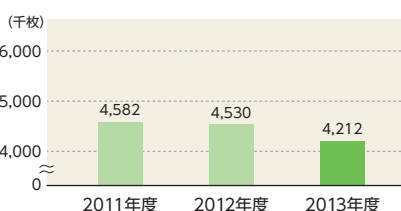
電力使用量

前年度比 **1.6%減**



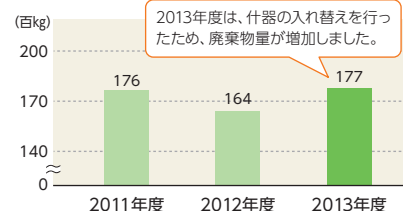
紙使用量

前年度比 **7%減**

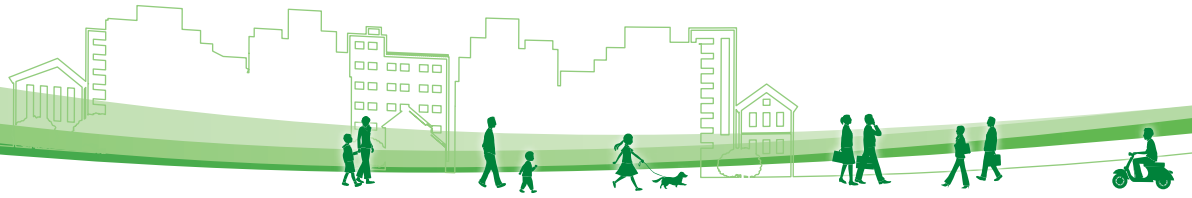


廃棄物量

前年度比 **8.0%増**



※キーウェアソリューションズ(株)、キーウェアサービス(株)のみ計測



特筆すべき活動

❖ 環境関連の法規制遵守

環境法規制、地方自治体の条例やお客様からの要求事項を特定し、定期的に遵守状況を確認しています。

その結果を経営者へ報告することで、遵法性評価のPDCAを確実に展開しています。

❖ 環境教育

キーウェアの環境活動に関わるすべての関係者に教育を実施しています。

- 全社員に対しWBT (Web Based Training) による環境教育を実施。
- その他協力会社 (廃棄物処理業者・清掃業者等) に対し、周知文書・依頼文書を通じた教育を実施。
- 中途採用者およびプロジェクトへの新規参画協力会社社員に対する教育を随時実施。

❖ 保護 (まもる) くんを活用したリサイクル活動

	2011年度	2012年度	2013年度
年間排出量	16,200kg	14,825kg	14,590kg
森林伐採抑制量	243本	221本	216本
CO ₂ 排出抑制量	7,026kg	5,848kg	6,235kg

保護 (まもる) くんとは、

株式会社日本パープルが提供している、重要書類の保管・機密抹消処理・リサイクルシステムです。本サービスを活用することで、紙類・PC関連媒体のリサイクルに貢献し、地球環境の保護にも貢献しています。

また、カーボンオフセットサービス「保護くんZERO」があり、カーボンオフセットにも貢献しています。



❖ エコキャップ活動

キーウェアは、「エコキャップ運動」に参加しています。エコキャップ運動とは、ペットボトルのキャップを集め、リサイクルメーカーへ売却し、その売却益をワクチン寄贈団体に寄付し、世界の子どもにポリオワクチンを届けるという運動です。この活動を通じて、地域環境、限られた資源を有効に活用することなどを考えています。キーウェアでは、2008年12月から活動を開始し、2014年3月末までに約46万個のキャップを回収しました。換算すると、576名分のポリオワクチンを子どもたちに届けたこととなります。



❖ 「ニチバン巻心ECOプロジェクト」への参加

キーウェアは、「ニチバン巻心ECOプロジェクト」に参加しました。「ニチバン巻心ECOプロジェクト」とは、使い終わったガムテープやセロハンテープの巻芯を回収し、段ボールにリサイクルし、回収利益をマングローブの植樹活動に役立てるというものです。

資源の有効活用だけでなく、マングローブの植樹により、豊かな生態系の再生、地球温暖化の防止、周辺地域を台風や高潮被害等から守るなど、環境保護にも貢献しています。



❖ 「経団連自然保護基金」への寄付活動

キーウェアソリューションズは、「経団連自然保護基金」へ寄付を行っております。

同基金は、経団連会員を中心に企業や個人の協力を受け、アジア太平洋地域の途上国および国内において、NGOが実施する生物多様性保全・自然保護プロジェクトを支援しています。これまで熱帯雨林やマングローブ林の保全・復元、希少動植物の保護、地域住民への環境教育や、東日本大震災の復興に繋がる自然再生活動へも継続的に支援を行っています。

社会編

キーウェアは、経営理念として掲げている「社会的役割」の考え方にに基づき、企業活動を通じて豊かな社会の発展に貢献するとともに、さまざまなステークホルダーの皆様との関係を重視し、ともに成長・発展していくための取り組みを行っています。

お客様とともに

※ お客様満足 (CS) 向上

キーウェアでは、より高品質のソリューションサービスを提供し、お客様にご満足いただくため、日頃より改善活動に努めています。

※ CS向上勉強会開催

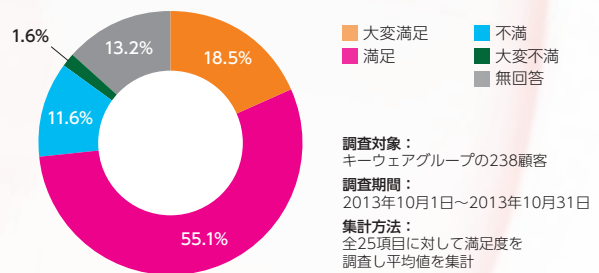
社員全体のCS意識向上のため、例年通りCS勉強会を開催しています。これまでの課題への対応に加え、さらに系統立てた対策を行えるようにするために、2013年度の勉強会は、問題解決手法の一つであるロジックツリーの演習をメインとした内容としました。勉強会で習得したロジックツリーを活用し、CS改善の計画と実績の管理を行っています。

※ お客様満足度アンケート実施

キーウェアでは、定期的な主要なお客様に対して満足度調査のアンケートを実施し、自身の業務の改善やお客様によりご満足いただくために結果を活用しています。2013年度は、幅広いご意見をいただくために以前よりもアンケートの範囲を広げました。その結果、より多くの貴重なご意見をいただくことができました。

反省するべきご意見をいただいた場合には、すぐに現場で改善に取り組んでいます。

2013年度 お客様満足度アンケート結果



株主・投資家の皆様とともに

※ 基本的な考え方

キーウェアソリューションズは、市場から適正な評価を得るために、企業としての説明責任を果たすことを経営の最重要課題の一つとして位置づけています。

株主・投資家をはじめとしたステークホルダーの皆様へ、充実した情報開示を行うことにより、キーウェアソリューションズに対する理解を深めていただくとともに、皆様の声を社内ヘフィードバックし、経営・IR活動へ活かしていくことで企業価値向上に努めてまいります。

※ 情報開示の基本方針

株主・投資家の皆様に適時、正確かつ公平な情報を提供するため、会社法、金融商品取引法、各種法令等を遵守し、東京証券取引所の「上場有価証券の発行者の会社情報の適時開示等に関する規則」で定める情報およびそれらに準拠した情報ならびにその他の重要な情報を迅速に公開するほか、キーウェアソリューションズを理解していただくために有効な情報につきましても、積極的な開示に努めることを基本方針としています。

※ 株主・投資家の皆様とのコミュニケーション

株主・投資家の皆様向けのIRツールとして、株主通信「KEYWARE TIMES」や、アニュアルレポートなどを発行しています。また、多くの方に迅速かつ公平にIR情報をお伝えするため、IRサイトにおいて、決算情報、財務データをはじめ、キーウェアの強みや特長などを日本語と英語で掲載しています。また、アナリスト・機関投資家向け決算説明会を開催し、その様子を動画で配信しています。



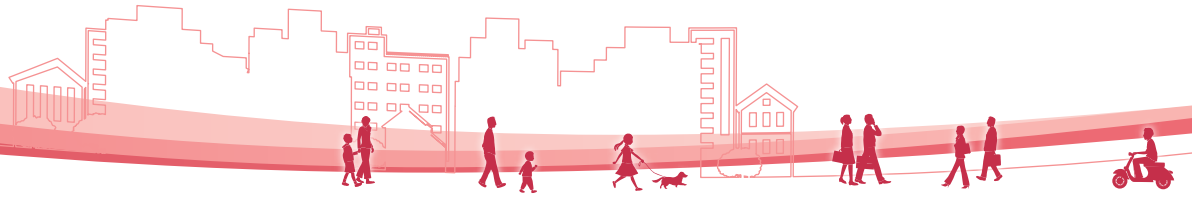
株主通信「KEYWARE TIMES」



機関投資家向け決算説明会

● 所有者別株式分布状況 (2014年3月31日現在)





地域社会とともに

東日本大震災 復興支援活動

東日本大震災からの復興を願い、東北6県の祭りが集う「東北六魂祭 2014」が2014年5月24日(土)～25日(日)に山形県山形市で開催されました。キーウェアソリューションズは、「東北六魂祭」の開催主旨に深く共感し、東日本大震災復興支援への取り組みの一環として、4回目となる今年もベネフィット・ワンふれあい広場に出展いたしました。



当社のブースでは、東北支店の社員も参加し、花の種やタトゥーシールの配布やiPadを活用した抽選とイベントを行い、大変多くの方々に足をお運びいただきました。キーウェアソリューションズでは、今後も企業活動を通じ、復興支援のお役に立てるよう取り組んでまいります。

インターンシップの実施

2009年度より、学生の皆様の職業観・就業意識の形成・向上を目的として、インターンシップを実施しています。

システムエンジニアの仕事を理解していただくために、仮想プロジェクトチームを組み、当社が開発した企業向けソリューションを用いてお客様企業の問題解決をはかる企業向けサービスや、暮らしの中にある身近な課題をもとに、新たなサービスを創出するサービス企画開発のプロセスなどを体感していただきました。

地域清掃活動

キーウェアでは、本社のある東京都世田谷区で周辺地域の清掃活動に取り組んでいます。地域社会の環境美化や住みよい街づくりに貢献することを目的に、月1回実施し、役員・社員によるボランティアが参加しています。



収集・リユース等のボランティア活動

キーウェアでは、社員一人ひとりの環境意識の向上や社会貢献のために、誰でも参加できるボランティアに取り組んでいます。

エコキャップ運動

NPO法人「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」にペットボトルキャップを集めて寄贈

使用済み切手の回収

国際協力NGO ジョイセフへ寄贈

不用カレンダーの寄贈

日本災害救援ボランティアネットワークが主催するカレンダーリサイクル市に寄贈

ろうきんエコブック制度 Re Book に古本を寄贈

中央労働金庫が主催する障がいを抱えた方々のはたらく場をつくることのできる社会貢献活動 Re Book 制度に古本を寄贈



社員とともに

人材育成への取り組み

キーウェアでは、社員と会社が互いに成長できる会社を目指しています。また、社員の技術スキルレベルの向上をはかり、より専門性を高めることを、経営戦略の重要テーマとしています。

キーウェアでは、社員一人ひとりの適性・志向に合ったキャリアアップを支援するため、部門ごとに標準キャリアパスを設定し、そのキャリアパスに沿って、技術系/ビジネス系/ヒューマン系の体系的な研修を提供します。そして、ITSSツールを用いてスキルアップ計画を策定し、PDCAサイクルに沿った組織的・計画的な研修・OJT(先輩・上司による現場教育)による指導・育成を実施しています。すべての社員を対象として、「階層別研修」「目的別研修」「専門スキル研修」などの研修プログラムを実施しているほか、社員のスキル向上および自己啓発支援の一環として、資格取得を推進し、会社が必要と認めた公的資格・認定資格を取得した者に対しては一時金として資格取得奨励金を支給しています。

2012年度より、人事考課制度に「役割グレード制」を導入し、併せて人材育成プロセスの改善に着手しました。若手社員の育成、新技術習得やグローバル人材育成を意識した公募制の研修(フロンティア・チャレンジ研修)制度をスタートさせ、次世代人材育成の強化に着手しております。

ワークライフバランス～次世代育成支援の取り組み～

社員が仕事と子育てを両立させることができる働きやすい環境をつくることによって、すべての社員がその能力を十分に発揮できるよう、次のように3ヵ年計画を策定し実行しています。

●社員の仕事と子育ての両立を推進する諸制度(育児休業制度、育児時短制度、子・家族の看護休暇、フレックスタイム制度、外部カウンセラー相談窓口など)の周知徹底を行うとともに、利活用を促進します。

●社員が家族との時間を大切にできるように、計画年休の日数を増やすとともに、年次休暇を取得しやすい風土・環境づくりを目指します。

育児休業取得者・育児時短勤務利用者数

	2011年	2012年	2013年	2014年
育児休業取得者	6人	5人	1人	6人
育児時短勤務利用者	2人	6人	7人	5人

各年4月1日時点、キーウェアグループ全体

健康管理とメンタルヘルスケア

社員が健康で安心して働ける環境づくりをテーマに、2007年にEAPサービス(外部カウンセラー相談窓口)を導入、2009年には保健師による健康相談(長時間労働者、健康診断有所見者)を開始し、社員ならびに家族の心身の健康をサポートする制度の充実をはかっています。

会社概要

会社名	キーウェアソリューションズ株式会社	キーウェアグループ	キーウェアサービス株式会社
創立	1965年5月		キーウェア北海道株式会社
資本金	17億37百万円		キーウェア西日本株式会社
売上高	172億円 (2014年3月期・連結)		キーウェア九州株式会社
従業員数	1,044名 (2014年3月末現在・連結)		株式会社クレヴァシステムズ
上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部		

編集方針

「キーウェアグループ CSR報告書2014」をお読みいただき、誠にありがとうございます。キーウェアのCSR活動の内容と結果について、ステークホルダーの皆様へ、適切にわかりやすくご報告することを目的として「CSR報告書」という形でご報告させていただいております。

キーウェアは、今後も企業活動を通じて豊かな社会の発展に貢献するだけでなく、広く社会とともに継続性のある未来を築いていくため、積極的にCSR活動を行ってまいります。本報告書をお読みいただき、ぜひ忌憚のないご意見や感想をお寄せいただければ幸いです。今後のCSR活動の参考とさせていただきます。

ホームページ

キーウェアの社会・環境活動 (CSR) につきましては、ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.keyware.co.jp/csr/index.html>

報告対象組織

キーウェアグループ全体を対象としています (キーウェアソリューションズ株式会社のみ限定される事象の報告については、本文中に明記しています)。

報告対象期間

2013年度 (2013年4月1日～2014年3月31日)

※一部に2014年度以降の活動も含んでいます。

発行年月

2014年8月

表紙デザインについて

表紙のデザインには、いつまでも続く豊かな人々の暮らし・社会・地球環境へのキーウェアの想いを込めています。そして、その実現に向けたキーウェアのICTを通じた事業への取り組みを表現しています。

KEYWARE
SOLUTIONS

キーウェアソリューションズ株式会社

〒156-8588 東京都世田谷区上北沢5-37-18

経営管理部 CSR推進室

TEL 03-3290-1111 FAX 03-3290-6741

<http://www.keyware.co.jp>

※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。